

医師、看護職員及び医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画（令和7年度）

評価体制

- 負担軽減及び処遇の改善に係る責任者として、医師及び医療従事者：管理課長，看護職員：看護部長を任命
- 職員衛生委員会で計画作成，評価及び見直しを行う。（職員衛生委員会構成員：看護部，薬剤室，リハビリテーション室，臨床検査室，管理課）
- 職員衛生委員会は毎月1回開催し，計画達成状況の評価及び計画見直しを行う。

負担軽減及び処遇改善計画

項目	対象職種	目標達成年次	取組項目	内容	具体的な取組み内容	達成状況	取組結果	備考
負担軽減	医師	継続	◆医師のタスクシフト	・医師事務作業補助者へのタスクシフト	・医師事務作業補助者がカルテの代行入力や診断書作成等医師事務の一部補助を行う	達成	・令和8年3月30日～外来基本票の裏に代行入力依頼票を印刷し，クラークによる検査オーダー等の代行入力を行う運用を開始した。	
				・看護師へのタスクシフト	・初診患者の予診を看護師が行う ・静脈採血等を看護師が行う ・入院説明を看護師が行う ・検査手順の説明を看護師が行う ・その他プロトコルに従い医師の指示した薬剤の投与・採血・検査を実施する	達成		
				・薬剤師へのタスクシフト	・服薬指導を薬剤師が行う	達成		
				・リハビリスタッフへのタスクシフト	・リハビリ処方に関するマニュアル整備 ・リハビリ実施計画書の代行入力 ・廃用に係る評価表作成の代行入力	達成	・リハビリ処方に関するマニュアルを作成した。 ・入力ミスが発生しないよう，リハビリスタッフより医師に入力方法等を共有している。	
	医師，看護職員	継続	◆医療機器の管理	・臨床工学技士による医療機器の定期保守点検 ・医療機器の取扱い研修会（新規医療機器導入時や異動してきた職員を対象とする研修など）	・医療機器点検計画のとおり実施 ・研修会を年1回実施	達成	・臨床工学技士が医療機器の点検（毎週月曜日）及び研修会（不定期）を行っている。	
	看護職員	継続	◆看護補助者の活用	・看護補助者のスキル向上 ・看護補助者と協働のための体制整備	・研修実施及びマニュアル整備 ・看護補助者を対象とした研修の実施	達成	・看護補助者を対象とした研修会を，岩出山分院看護部教育委員会により実施している。	
	看護職員	継続	◆夜勤看護体制の維持	・3人夜勤体制の維持	・夜勤帯の看護職員配置と業務改善 ・看護補助者の早番・遅番業務の運用	未達成	・看護補助者の遅番業務は運用しているが，早番業務の運用ができていない。	
全職種	継続	◆時間外勤務時間の評価	・特定の部署，職員だけに負担がかからないようチェック	・毎月，職員衛生委員会で時間外勤務時間を評価し，長時間勤務者がいる場合は，所属長へ改善指導をする	達成	・産業医から所属長へ改善指導を行った。		
処遇改善	医師	継続	◆休日・深夜の負担軽減	・宿日直業務回数の制限 ・連続当直の制限	・1人あたりの日直業務を月1回，宿直業務を週1回までに制限する ・連続当直を行わない勤務体制の整備	未達成		
	医師	継続	◆働き方改革への対応	・勤務時間インターバルの確保	・前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定の休憩時間を確保する	未達成		
	医師	継続		・宿日直許可の維持	・医師の宿日直勤務の許可を維持する	達成		
	看護職員	継続	◆スキルアップ研修の充実	・専門職としてのスキルアップ支援体制の整備	・院外研修会参加と院内研修会の開催 ・伝達講習・資料回覧・バリテスの活用 ・オンデマンド研修の活用	達成		
	全職種	継続	◆年休取得率の向上	・年休を取りやすい職場環境の構築	・5日間の年休取得の徹底 ・中間評価を実施し，所属長へ報告する	未達成	・5日間の取得に満たない職員の所属長に中間報告を実施するも，達成に至らなかった。	
	全職種	継続	◆健康診断等の日程調整	・勤務形態に配慮した健診日の調整	・受診者の勤務形態及び希望に合わせて健診日を設定する	達成	・健康診断受検率は100%だった。	